



大迫の宝がここに！ 郷土芸能発表会。

7月1日は「創立150周年プレ・イベント」として、午前中に「大迫高校生によるドローン人文字撮影」を、そして午後には「郷土芸能発表会」を行いました。郷土芸能発表会の演目と参加児童は、

○八木巻神楽「膳舞」（翔さん、宏明さん、飛翔さん）

○岳神楽「三番叟」（優太さん）

○岩脇さんさ踊り（和さん、妃夏さん）

の3つ。運動会で演じている以外にも、大迫には宝物の郷土芸能がたくさんあることを全校児童に知ってもらいたい、そしてぜひ、自分も一緒に踊ってみたいと感じてもらいたいとの願いから企画したものです。来年はさらに多くの児童に、郷土芸能の発表に参加してもらいたいと思っています。



○ご家族の方から感想をお寄せいただきました。

創立記念日行事には、郷土に縁のある方の講演が定番とと思っていました。が、今年は大迫に500年も前から伝承されている郷土芸能を「小学生が主役」で実施されたことは大変意義深いことだと感じました。演じた子供たちにとっては、指導者のもとで緊張しながら懸命に練習したことでしょう。

初々しく、格好良く、とてもよかったです。

地域内では演じているかもしれませんが、今回、全校児童や保護者の前で発表したことが、次への大きなステップになることを期待しています。

そして、「自分もやってみたい気持ちになった」「大迫に住む一人として受け継ぎたい」・この言葉が発表会の成果であるし、保護者にも鑑賞の席を設けていただきありがとうございます。幕が開く前の静まりの中、太鼓の一打目、そして、手びら鉦の響きが体中に染み渡る瞬間、神聖な気持ちにしてくれます。郷土芸能が長く続くことを祈っています。

温かいご感想、ありがとうございます。幕開けの静けさから太鼓の一打目までの神聖な気持ちは、子どもたちもしっかり感じています。そして、これらの伝統芸能は決してなくしてはならないものであることも。子どもたちは大人になった時、郷土芸能を伝承し、発展させる可能性を持っている。だから、「子どもが主役」です。



○児童の感想から（４～６年生）

・私は、八木巻神楽はおぼんを持っているのにはげしい舞いをしていて、すごいなと尊敬しました。岳神楽は、最後になって疲れているのに、激しい舞いをする姿がかっこいいと思いました。岩脇さんさも、思わず、踊り出しそうでした。全校の前でみんな緊張したと思うけど、しっかり踊りきり、郷土芸能は大事だと思いました。（４年生）

・八木巻神楽は、踊りを初めて見てみて、おぼんがよく落ちないなと思いました。岳神楽はよく見たことがあったけど、改めて「かっこいい」「やってみたいな」と思いました。とても神楽が好きで毎年見ていたので、うれしかったです。

岩脇さんは、けっこうテンポが速いのに、太鼓の人は踊りながらたたいているのがすごいなと思いました。（５年生）

・同級生が神楽、さんさを真剣に踊っていて「大勢の人の前で踊れるの、すごいな」と思いました。でも、とても楽しそうに見えたので、「私も踊ってみたい」と思いました。（５年生）

・郷土芸能の発表会を見て、みんな、踊るのが「キレッキレ！」でとてもすごかったです。長い時間踊るのは難しいので、踊れるのがすごいと思いました。昔から受け継がれてきたと思うと、うれしくなります。（５年生）

・僕は、目で見て、郷土芸能は素晴らしいと思いました。実際に見ると「すごいな」などと自分の気持ちが現れる場面がたくさんあったので、素晴らしいものだと思います。演じてくれた友達も、たくさん練習していることがわかる場面もあったので、努力しているんだなと思いました。僕も、何かできることがあったら努力したいなあ、と思いました。（６年生）

・みなさんが郷土芸能を受け継ぎたいという思いが伝わってきました。ただ踊るだけでなく「楽しい」という思いや「見てほしい」という気持ちを感じることができました。とても貴重な時間になったと思います。すごく感動しました。（６年生）

○大迫高校の協力で、「人文字撮影」にも挑戦しました。



全校児童で文字を作るのはなかなか大変でした。撮影した動画は、大迫高校のホームページに掲載されています。左のQRコードからもご覧いただけます。新聞にも大きく報道されました。詳しくは号外7をご覧ください。



バレーボールスポ少・全国大会へ！

第42回全日本バレーボール小学生大会岩手県大会 混合の部 優勝 大迫石鳥谷バレーボールスポーツ少年団

○閣馬さん、優太さんが出場した上記大会優勝の結果、8月に東京都などで行われる全国大会に出場が決定しました。おめでとうございます！みんなで応援しよう！（大会結果の新聞記事は号外8に掲載しました）



避難訓練で「煙体験」を行いました。

4日（月）には、大迫分署のご協力をいただき、火災を想定した「煙体験」を全校児童が行いました。実際の火災では煙で周りが見えなくなること、煙は上に集まるので低い姿勢で移動すること、煙を吸わないようにハンカチなどで口を押さえることなどを体験から学びました。